

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会

開催結果（第12回）

1. 日 時

令和3年7月1日（木）午前10時から正午まで

2. 場 所

南丹市国際交流会館 コスモホール

3. 出席者

委員19名（うち代理2名）

4. 当日資料

別添のとおり

5. 議 題

地域公共交通計画策定事業について

- ①計画策定の進め方及び今後のスケジュール等について
- ②計画の内容（案）について

6. 主な意見

〈協議事項〉

議題① 計画策定の進め方及び今後のスケジュール等について

- 他人ごとの計画ではなく、自分がこの先の5年間で何をやるのかという視点で計画を作っていくこと。
- 協議会全体として、計画策定の目的など意識共有が必要。

〈協議事項〉

議題② 計画の内容（案）について

- 現計画でやってきたことを踏まえて、基本方針自体をまず見直す必要があり、さらにこの協議会の目的について再定義する必要がある。
- 施策の「できる、できない」だけではなく、この協議会として必ず実施すべき「重点項目」の整理と、何をすべきかという情報収集が必要。その上で内容の取捨選択を進めること。
- 基本方針は地域に対するメッセージ。交通事業者の皆様は新型コロナの影響を長期的に受けていて、経営状況も大変厳しい中で、ニーズと情勢にギャップが生じることがあるかと思う。基本方針を見直す際には、その辺りのギャップが生じないように十分配慮いただきたい。

- この地域全体の「おでかけ」に関することをまとめて一つのサービスとしていくために、地域として統一したルールづくりが必要であり、そのルールの下で、各地域が創意工夫できるような仕組み作りを行っていくことが重要。
- 今日意見が出なかったところに関しては、部会など意見を聞く場を設けること。